

2022 年活動状況報告

一般社団法人
石川県サッカー協会

■種別・委員会

1. トップリーグ（Jリーグ）[理事：西川 圭史]

2022 シーズンも競技役員や補助員など、協会の皆さまのご協力により無事 1 年を終えることができました。心から感謝申し上げます。チームは順調なスタートを切り、中盤まではプレーオフ圏と僅差の状況をキープしていたが、夏場にコロナ感染の影響などもあり大差で 5 連敗したのが響き、最終順位は 14 位となった。ただ、終盤は上位陣にも互角以上の内容で勝利することができ、来シーズンに向けて大きな自信を持って終えることが出来た。また、夏場から一部エリアで声出し応援が解禁され、スタジアムに熱気が戻ってきたのは選手にとって大きな力となった。

最終成績 14 位 勝点 52 13 勝 13 分 16 敗 56 得点 69 失点 得失点△13

総観客数 71,842 人（昨年差 +18,639 人）

一試合平均観客数 3,421 人（昨年差 +888 人）

2. トップリーグ（Fリーグ）[理事：鈴木 修平]

今シーズンは、6 月からの開幕となり、コロナ感染症に伴う緩和の方向性が打ち出されましたが、室内競技である観点から規制解除できない部分の影響があった厳しいシーズンとなりました。昨シーズンと違い、観客動員数の解除により、コロナ感染症以前の動員数には、とどきませんでした。沢山の方々の前でトップリーグが開催できたことに感謝いたします。

3. 第 1 種(天皇杯、県選手権) [理事／委員長：坂口 公介]

第 51 回石川県サッカー選手権は 5 月 8 日（日）金沢市民サッカー場で金沢星稜大学サッカー部 vs 北陸大学サッカー部と大学連盟同士の決勝となり、1-2(1-0)のスコアで北陸大学サッカー部が優勝し天皇杯出場となった。

天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権 1 回戦は 5 月 21 日（土）サンプロアルウィン（長野県）で行われ、長野県代表の松本山雅 FC(J3)と対戦、3-2(2-1)で惜しくも 1 回戦で敗退となった。

4. 第 1 種(社会人) [理事／委員長：坂口 公介]

第 48 回北信越フットボールリーグは 4 月 10 日～9 月 18 日まで開催され、石川県からは、FC 北陸、SRKomatsu の 2 チームが 2 部リーグに参加。FC 北陸は 9 勝 5 敗で 2 部リーグ優勝となり来季 1 部リーグに復帰となった。SRKomatsu は 4 勝 6 分 4 敗で 5 位残留となった。

個人表彰では 2 部最優秀選手で田中一成選手（FC 北陸）が、又、フェアプレー賞で SRKomatsu が表彰された。

北信越大会の主要結果（石川県参加チーム）

- ・日本スポーツマスターズ 2022 北信越予選会（5/29 新潟県新発田市）石川県不参加
- ・第 58 回全国社会人サッカー選手権北信越大会（7/9、10 長野県松本市）
SRKomatsu（初出場）1 回戦敗退 JAPAN.S.C(新潟県) 1-3(1-2)
- ・第 29 回全国クラブチームサッカー選手権大会北信越大会（9/10、11 石川県能美市）
テイヘンズ FC が優勝し 3 年連続全国大会出場、大徳 PELADA・FC も出場するも 1 回戦でアザリー飯田（長野県）に 3-2(0-1)で敗退となった。
同全国大会（10/29～11/1 三重県鈴鹿市）
1 回戦 札幌北大クラブ 0-0(PK3-4)で勝利
準々決勝 OKFC(関西／大阪府) 6-1(1-1)で敗退
- ・第 45 回北信越サッカー県リーグ決勝大会「北信越チャレンジリーグ 2022」（10/2～11/13 各地）石川県代表 LionPower 小松が出場するも 1 分 3 敗の 5 位で北信越リーグ昇格することができなかった。

石川県内の主要大会

- ・第 58 回石川県フットボールリーグ（4/17～11/13 県内各地） 感染症の影響があったものの全日程を進めていくことができた。結果は以下の通り。
 - 1 部優勝 LionPower 小松 7 勝 1 分 2 敗
 - 2 部 A 優勝 大徳 PELADA・FC 5 勝 1 敗
 - 2 部 B 優勝 金沢学院大学 FC ファースト 6 勝 1 敗
 - 3 部 A 優勝 セブン FC 7 勝 0 敗
 - 3 部 B 優勝 金沢学院大学 FC セカンド 7 勝 0 敗同リーグのプレーオフ・入替戦では能美 SC（1 部）が残留、押水 FC(2 部 A)が大徳スクラップス(3 部 A)に敗れ大徳スクラップスが 2 部に昇格、北國銀行サッカー部(2 部 B)が残留となった。
- ・第 58 回全国社会人サッカー選手権石川県大会（6/22 金沢市民）
SRKomatsu 3-2(1-1、延 1-0、0-0) FC 北陸
- ・第 29 回全国クラブチームサッカー選手権大会石川県大会(8/21 加賀陸上)
テイヘンズ FC 1-0(1-0) 大徳 PELADA・FC

5. 第 1 種(大学連) [理事：増田 和実]

(1) 第 50 回北信越大学サッカーリーグ（4/16～11/20）

- 1 部リーグ 2 位 北陸大学, 5 位 金沢星稜大学, 6 位 金沢学院大学,
7 位 金沢大学（来季 2 部リーグへ降格）

- 2 部リーグ 8 位 金沢工業大学

優勝 新潟医療福祉大学(5 年連続 8 回目) 優勝と 2 位 北陸大学の 2 チームが第 71 回全日本選手権へ出場。

優秀選手(ベスト 11)に 遠藤青空 氏(北陸大学), 青木駿汰 氏(金沢星稜大学)が選出された。遠藤青空 氏(北陸大学)はアシスト王も獲得した。

- (2) 第 46 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント北信越大会 (5/28～7/3)
 準決勝 新潟医療福祉大学 2-1 北陸大学, 金沢大学 1-5 新潟経営大学
 3 位決定戦 北陸大学 3-3 (PK 3-0) 金沢大学
 優勝 新潟医療福祉大学 (6 回目)
- (3) 2022 年度インディペンデンスリーグ (6/5～10/23, 代表決勝戦 11/3)
 北陸地区 1 位 北陸大学 B, 2 位 北陸大学 A, 3 位金沢学院大学 A, 4 位金沢星
 稜大学, 5 位 金沢大学, 7 位 金沢学院大学, 8 位金沢学院大学 B
 北信越代表決定戦 新潟医療福祉大学 B 2-1 北陸大学 B
 優勝 新潟医療福祉大学 B
- (4) 第 1 回石川県大学サッカー新人戦 (8/28～9/4)
 決勝 金沢星稜大学 8-0 金沢大学
 優勝 金沢星稜大学, 準優勝 金沢大学, 3 位 金沢学院大学
- (5) 第 1 回全日本大学サッカー新人戦北信越大会 (11/19～11/27)
 (第 6 回全日本大学サッカー新人戦への北信越予選)
 準決勝 金沢星稜大学 3-1 金沢学院大学
 決勝 新潟医療福祉大学 5-1 金沢学院大学
 優勝 新潟医療福祉大学, 準優勝 金沢学院大学, 3 位 金沢星稜大学
- (6) DENSO CUP SOCCER 第 20 回大学日韓 (韓日) 定期戦 (9/17)
 U-23 日本代表カンボジア遠征 (9/20)
 西川周吾 氏 (北陸大学サッカー部・監督) が大学選抜チームと U-23 日本代表チームの
 コーチとして両試合に参加した。

北信越大学サッカー連盟の各県組織にあたる石川県学生サッカー連盟は、本年度より石川県
 大学サッカー連盟に改称するとともに、運営体制の見直しと学生育成を図るために月例 2 回の
 定例的な運営会議を開催し、大会諸般の準備・運営に当たってきた (この 2,3 年は試行期
 間)。これまで続いた石川学生サッカー新人戦 (例年冬期開催) も石川県大学サッカー新人
 戦として夏期開催を試みた。

6. 第 2 種 [理事/委員長: 山上 茂信]

[高体連関係]

- ・県高校総体 優勝 星稜高校、準優勝 鵬学園高校
- ・北信越大会 石川県開催 第 3 位 星稜高校
- ・全国高校総体 星稜高校 2 回戦敗退
- ・県高校選手権石川県大会 優勝 星稜高校、準優勝 鵬学園高校
- ・県高校新人大会 優勝 金沢高校、準優勝 星稜高校

[2 種関係]

- ・高円宮杯 JFA プリンスリーグ北信越
 第 3 位 ツエーゲン金沢 U18【プレミアリーグプレーオフ進出】
 第 6 位 星稜高校
 第 9 位 遊学館高校 (プリンスリーグ 2 部降格)

※コロナウイルス感染拡大のため、前期終了を最低条件としてリーグ戦を行う。
勝点平均で順位決定。

プレミアリーグプレーオフ ツエーゲン金沢 U18 3 - 4 神村学園 (九州①)

※ツエーゲン金沢 U18 プリンスリーグ残留。

・高円宮杯 JFA サッカーリーグ石川 第 1 位 鵬学園高校 第 2 位 星稜高校 B

※星稜高校 B はプリンスリーグ 2 部昇格決定。

・プリンスリーグプレーオフ

1 回戦 鵬学園 3 - 2 富山第一 B

代表決定戦 鵬学園 5 - 1 松本国際

※鵬学園高校 2023 年度のプリンスリーグ 1 部参入権利獲得。

来季は、プリンスリーグが 2 部化となる。

プリンスリーグ 1 部 : ツエーゲン金沢 U18、星稜高校、鵬学園高校

プリンスリーグ 2 部 : 遊学館高校、星稜高校 B

7. クラブユース [理事 : 吉田 泰]

[U-18]

◎クラブユース選手権

・北信越大会 ツエーゲン金沢 U-18 優勝

・全国大会 ツエーゲン金沢 U-18 予選敗退

[U-15]

◎クラブユース選手権

・県大会 (16 チーム参加 ※ツエーゲン、パテオは県大会免除)

優勝 エスポワール白山/準優勝 SOLTILOSEIRYO/第 3 位 サイバーステーション

・北信越大会 ツエーゲン金沢 U-15 優勝 / エスポワール白山 第 6 位

・全国大会 ツエーゲン金沢 U-15 ベスト 8

・インターシティカップ エスポワール白山 ベスト 16

8. 第 3 種 [理事/委員長 : 西野 哲之]

[3 種]

(ア)北信越リーグ

コロナのため順延扱いとなったゲームはあったものの、U15 はコロナ禍以降初めて全 22 節を完了することが出来た。

U15(12 チーム中) 3 位 : ツエーゲン金沢 6 位 : PateoFC 金沢

U13(10 チーム中) 2 位 : ツエーゲン金沢 5 位 : エスポワール白山

と県勢は上位争いをしたものの優勝には届かなかった。

(イ)県リーグ

県リーグも今年は 3 部下位リーグ等含めて、全カテゴリーで予定の試合数を完了することが出来た。

U15・1 部 1 位 : エスポワール白山 2 位 : セブン能登

この 2 チームは北信越リーグ昇格と全国大会出場をかけた北信越大会に進出した。

U13リーグは今年も強化と育成に分けて実施し、強化では PateoFC 金沢が優勝した。

(ウ)高円宮杯 JFA 全日本 U15 選手権

北信越リーグの入替戦を兼ねた 2 回戦まで、見事にエスポワール白山とセブン能登が勝ち上がり、両チームの来年度北信越参入が決定した。12 チーム中 4 チームを石川県勢が占めることとなり、今年は躍進の年となったといえる。

全国を賭けた上位では決勝で惜しくもツエーゲン金沢が AC 長野パルセイロに PK 戦で敗退し全国大会出場こそ逃したものの、ベスト 4 の内 3 チーム、ベスト 8 の内 4 チームを石川県勢が占める活躍を見せ、こちらも石川県のレベルの高さを見せる結果となった。

[中体連]

中体連の大会も今年はコロナに苦しみながらも予定どおりの日程で実施された。

石川県大会を勝ち上がったのは下馬評の高かった星稜中と北辰中(白山市)で、北信越大会に臨んだものの、星稜中は初戦で PK 敗退、北辰中は全国出場を賭けた準決勝でこちらも PK 敗退という悔しい結果となった。2024 年度に石川全中を控える中体連であるが、残念ながら今年も全中出場は惜しくも逃し、5 年間、全中出場を逃すこととなった。しかし、ここ数年の大きなレベルダウンからはやや回復傾向を見せつつあり、来年度こそ全中開催の布石となる活躍が期待されるところである。

9. 第 4 種 [理事/委員長：古西 広]

新型コロナ感染症の拡大の中、3 年ぶりに県大会では最大の若葉旗・ひまわりほーむカップ争奪石川県ジュニアサッカー大会を行うことができた。その後の拡大により、県外から招待する石川県知事杯中部日本招待少年サッカー大会は中止せざるを得なくなった。秋の大会は順調に開催でき全ての大会を開催することができた。U-12 年代の新型コロナウイルス感染拡大が顕著であったため、各大会での感染対策を十分に行い、無事に終了することができた。4 種に属する各チームの理解と協力の賜物であると感謝している。

主な大会の結果は下記のとおり。

- 若葉旗・ひまわりほーむカップ争奪第 38 石川県ジュニアサッカー大会
 - U-12 優勝：符津スポーツ少年団サッカー部
 - U-11 優勝：ツエーゲン金沢 U-12
- 第 51 回石川県スポーツ少年団交流大会
 - 優勝：河北台サッカークラブ
- NHK 金沢放送局長杯第 45 回石川県少年サッカー新人大会
 - 優勝：金沢南ジュニアサッカークラブ
- ハトマーク杯第 13 回石川県 8 人制サッカーU-10U-10 大会
 - 優勝：符津スポーツ少年団サッカー部
- JFA 第 46 回全日本 U-12 サッカー選手権大会石川県大会
 - 優勝：ツエーゲン金沢 U-12
- 2022 フジパン CUP 第 21 回北信越 U-12 サッカー選手権大会
 - 第 3 位：ツエーゲン金沢 U-12 第 4 位：符津スポーツ少年団サッカー部

10.女子 [委員長：松嶋 幸治]

①皇后杯 JFA 第 44 回全日本女子サッカー大会石川県大会を 7 月に開催いたしました。

決勝：SOLTILO SEIRYO PEL (4-2) 北陸大学フィオーレ

※SOLTILO SEIRYO PEL が県代表として、リリーウルフ F.石川がシード（北信越リーグ前期 2 位）として北信越大会（石川県開催）に出場し、リリーウルフ F.石川が初優勝し、11 月から開催の全国大会への出場権獲得を決めた。

全国大会： 1 回戦

愛媛 FC レディース【なでしこ 1 部】(2-0) リリーウルフ F.石川【北信越代表】

②JFA 第 26 回全日本 U-18 女子サッカー選手権大会北信越大会（富山県開催）に石川県代表（協会推薦）として北陸大学フィオーレが出場し、1 回戦を勝利しましたが、準決勝で敗退しました。

※1 回戦：北陸大学フィオーレ (12-0) 福井 GO WEST L.F.C (福井県代表)

準決勝：北陸大学フィオーレ (1-2) アルビレックス新潟レディース U-18 (新潟県代表)

③JFA 第 27 回全日本 U-15 女子サッカー選手権大会石川県大会を 7 月に開催しました。

決勝：FC 椿レディース・リオペードラ加賀合同 (1-1 PK4-5) 金沢学院 LFC

※金沢学院 LFC (初優勝) が県代表として、SOLTILO SEIRYO PEL (北信越 U-15 リーグ前期 2 位) と、北陸大学フィオーレ (北信越 U-15 リーグ前期 4 位) がシードとして、北信越大会（新潟県開催）に出場し、SOLTILO SEIRYO PEL が北信越第二代表として全国大会への出場権獲得を決めた。

全国大会： 1 回戦

SOLTILO SEIRYO PEL【北信越 2】(1-0) SEISA OSA レイア湘南 FC U-15【関東 5】

2 回戦： SOLTILO SEIRYO PEL (1-9) セレッソ大阪堺ガールズ U-15【関西 2】

④第 31 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会石川県大会を 9 月に開催しました。

決勝：星稜高校女子サッカー部 (8-0) 金沢伏見高校女子サッカー部

※星稜高校、金沢伏見高校の両チームが、県代表として北信越大会（長野県開催）に出場し、両チームとも 1 回戦での敗退となりました。

1 回戦：星稜高校女子サッカー部 (0-6) 佐久長聖高校女子サッカー部【長野県代表】

1 回戦：金沢伏見高校女子サッカー部 (0-23) 福井工大福井高校女子サッカー部【福井県代表】

⑤JFA 第 34 回全日本 O-30 女子サッカー選手権大会北信越大会が 10 月に福井県で開催され、石川県代表として、FC.TON レディースが参加しました。

決勝：FC.TON レディース (0-0、PK13-14) スフィーリアガール呉羽 FC

※北信越第二代表として、3 月開催の全国大会に出場

⑥北信越女子リーグ並びに北信越女子 U-15 リーグを 4 月から開催し、11 月末日をもって全日程が終了しました。

北信越女子サッカーリーグ 1 部：リリーウルフ F.石川（最終順位 2 位）

北信越女子サッカーリーグ 2 部：北陸大学フィオーレ（最終順位 5 位）

北信越 U-15 女子サッカーリーグ：北陸大学フィオーレ（最終順位 3 位）

北信越 U-15 女子サッカーリーグ：SOLTILO SEIRYO PEL（最終順位 4 位）

⑦石川県女子サッカー普及リーグは8チームリーグとして5月から開幕し、11月末で全日程を終了しました。優勝は、金沢学院 LFC となりました。

⑧JFA レディース・ガールズサッカーフェスティバル及び IFA 女子普及フェスティバルを4月から定期的
に開催し、多くの子供達の参加があり、女子サッカーの普及活動を行いました。(4回開催)

11.シニア [理事：西川 透]

(1) 石川県シニアサッカーリーグ

4月～11月に予定通り実施。各カテゴリーの1位は次の通り

O-40 I部：金沢フェニックス、O-40 II部：県庁シニア

O-50 I部：金沢フェニックス、O-50 II部：パテオ FC シニア

O-60：ゼフィーロ

(2) JFA 全日本 O-40,O-50,O-60 サッカー大会石川県大会

5月、7月、10～11月に予定通り実施。各カテゴリーの優勝は次の通り

O-40：金沢フェニックス（今年度の北信越大会に出場）

O-50：松任 FC シニア（来年度の北信越大会に出場予定）

O-60：ゼフィーロ（今年度の北信越大会に出場）

(3) JFA 全日本 O-40,O-50,O-60,O-70 サッカー大会北信越大会

4月、7月、10月に予定通り実施。各カテゴリーの成績は次の通り

O-40：金沢フェニックス（グループ3位）

O-50：パテオ FC シニア（グループ位2位）、松任 FC シニア（グループ位3位）、

O-60：ゼフィーロ（グループ1位→決勝戦 0-1）準優勝

O-70：石川選抜 準優勝

(4) JFA 第22回全日本 O-60 サッカー大会

6月18日～20日（愛媛県）

北信越代表として出場したゼフィーロ石川は、グループリーグ2位となり、決勝トーナメントに進めず

(5)シニアサッカー普及促進事業

高校対抗 OB 交流大会（8月14日）11校のOBで対抗戦

シニアフェスティバル（9月19日）O-60など12チームが参加

和倉いで湯カップ（11月5～6日）全国からO-40,O-50,O-60のカテゴリーに24チーム参加

シニアフットサル大会（1月～3月予定）

(6)その他大会

いしかわスポレク大会（6月5日）O-50,O-60,O-65のカテゴリーに計16チームが参加

ゆーりんピック（5月14～15日）O-60など12チームが参加

12.フットサル [理事／委員長：松山 誠志]

感染症対策のため大半が無観客開催となったが、予定された公式大会は全て開催された(U12北信越交流戦は中止)。今年度は石川県勢の活躍が目覚ましく、U18選手権で遊学館高校が全国大会で優勝を収めたほか、大学選手権では金沢大学サッカー部が全国大会ベスト8進出、U15選手権ではリオペードラ・加賀が全国大会出場権を獲得(2023年1月栃木県で開催)、フットサル

連盟事業では男子石川県選抜が北信越大会 2 連覇を達成し全国大会出場権を獲得(2023 年 1 月岡山県で開催)、北信越フットサルリーグではヴァルカン D センブリチェが優勝を果たし地域チャンピオンズリーグに出場する(2023 年 2 月東海地区で開催)など、現在までに開催された男子主要大会全てにおいて石川県チームが全国出場権を独占している。女子においては、女子選抜大会と北信越女子リーグ(ヴィンセドール白山ラソ)がいずれも 2 位とあと一步だったが、石川県フットサル界の全体の進歩が見られる。

13.キッズ [委員長：辰巳 勝]

感染症対策をとりながら、コロナ前とほぼ同様の活動を再開することができている。

【巡回指導】

園の要望に応じる形で、感染症対策をとりながらほぼ順調に実施することができている。

【キッズエリート】

能登、加賀、金沢の 3 地区で 3 年ぶりに活動を行っている。

金沢地区では、サッカーをする環境が整っていることもあり、1, 2 年生のみを対象とした。

【キッズリーダー】

キッズリーダー養成講習会は、コロナ前よりも開催回数が増え、対象の幅も広げている。明治安田生命社員やリールウルフの選手、女子高校生などが受講し、巡回指導やフェスティバルのスタッフとして参加していただいていることは大きな成果と言える。

【フェスティバル】

ゲーム形式 2 回、FIFA グラスルーツ形式 1 回、巡回指導者研修会を兼ねたフェスティバル 1 回の計 4 回開催した。ゲーム形式はコロナ前からの従来の形でチームでの参加のフェスティバルである。他の 2 回は、サッカーファミリー拡大のために未経験者向けのフェスティバルを開催した。参加者数は伸び悩んだが、未経験者の割合が高く、参加した子どもたちはとても楽しそうにしていたので一定の成果が得られたと思われる。また、グラスルーツフェスティバルは女子委員会とのコラボで開催できたことが大きかった。特に女子高校生が補助スタッフとして幼児に笑顔で関わってくれたことが事業の成功につながったと思われる。

14.グラスルーツ [委員長：辰巳 義和]

第 3 回 IFA パラフットボール障がい者フェスティバル(後援:石川県)を開催。ブラインドサッカー、電動椅子サッカー、知的障がい者サッカーの関係者が一同に会し、一般向けの体験会を行ったが、一般参加者は 5 名程度だった。急きょ、各団体の選手・関係者が、それぞれのサッカーで試合をするという試みを行った。来年度は、体験参加者を増やすため、C 級指導者講習会とのコラボを考えている。

15.技術(育成) [理事/委員長：中野 勝彦]

コロナ禍であったが、4 月よりトレセン活動は感染対策を行った中で実施した。中でも遠征などに関してはその都度担当者と連絡をとりながら、「選手・関係者の安全を第一」に考え、他県の状況も踏まえながら実施した。

トレセン活動は、「BONDS」(ボンズ：縦横に繋がる、絆をつくる)を柱に、U-12 から、U-13、U-14、U-15 そして最終的に U-16 国体チームへ積み上げる活動を行った。また、各カテゴリーのゲ

ーム環境がより拮抗した中で行われるように、種別の技術担当にも働きかけながら行った。

U-12では、今年度特に男女の活動（日常の活動と、ガールズゲーム、ガールズエイト）を整理し、連携していくことに重点を置いた。（日常の活動の中で、男女の垣根をとることで成長する女子が多くいるため。）

男子も、U-11の優秀な選手が、U-12の活動に飛び級として参加することも行った。

また、来年度に向けて、今年は制限が多かったU-11、12県トレセンの県外遠征を積極的に実施するなど、強豪チームとの試合を通して選手が感じ、気づく場を作っていきたい。

U-13に関して、NTC(ナショナルトレセン)U-13前期が地域開催(7月)になったため、より多くの選手が参加し経験できるチャンスが生まれた。その活動を中心に選ばれた選手は、NTC U-13後期に参加した。（北信越16名参加で、うち石川県選手3名）

U-14に関して、NTC U-14前期(5月)に1名が参加した。10月に北信越U-14が和倉にて行われ、この活動からNTC U-14に参加した。（北信越16名参加で、うち石川県から3名）

U-13、14の県トレセンの活動のねらいに「一人でも多くNTCに参加させること」がある。

今後も、各カテゴリーが縦の関係を理解し、結びつきを強めながら積み上げとなる活動を行い一人でも多くの選手を輩出する。

U-15に関して、国体チームに繋がる活動としてとらえている。11月の北信越トレセンリーグは、2勝(新潟、福井)、2敗(長野、富山)で5県中3位であった。この結果をもとに2023年のU-16トレセンリーグの対戦順が決まった。

U-16に関しては、強化部の中で報告。

女子に関して、U-12、U-14、U-15の連携、積み上げができてきている。しかしながら、受け皿の問題で、U-16には繋がっていない。現状、主力選手は高校進学時に県外に出ている。

ただ、県外チームで活躍(2023年1月の選手権で日本一になったチームのレギュラー)している選手もいるため、サッカーのベースとなる技術、戦術などをU-15までに身に付けていく活動は続けていく。

16.技術(指導普及) [理事/委員長：中野 勝彦]

石川県のサッカー発展の肝となる活動が、指導者養成である。その中での課題が、ライセンスの問題である。無資格の指導者も多くいる現状があり、「指導者として質の向上」は我々指導者全員で考えなければいけない問題でもある。これらは、選手がよりよい環境の中で「安全に安心して行う活動」にも繋がっている。（暴力、暴言をサッカー現場からなくすことにも繋がる。）

指導者にとって、ライセンス取得の入り口としてのD級講習(①11月名受講、②3月予定)、そして、技術委員会としてライセンス取得のスタンダードとしたいC級講習(①9月～12月17名受講、②11月～12月10名受講)をそれぞれ2回実施した。また、C級取得者のリフレッシュ①10月、②12月)も2回実施した。

2023年度は、子どもたちがサッカーを始める年代の4種と連携をとり、「ベンチコーチは有資格者で」の実現に向け、指導者養成事業の内容、時期等について考えていく。

17.技術(強化) [理事/委員長：中野 勝彦]

少年(男女)に関して、県のトレセン活動の集大成(U-16での国体チーム)としての位置づけをしている。

少年男子は、昨年度は不運にも出場権を得ていながらも、三重国体が中止になった。そのため、今

年度は、強い想いを持って活動をした

8月の北信越国体では、1勝(富山)1敗(新潟)で、得失点差で惜しくも出場権を逃した。少年女子は、U-15の選手を中心に長野との試合に臨んだがPK戦で敗退した。成年男子も、長野、富山を破り、代表決定戦の新潟との試合も先制していながら、ラスト10分で逆転負けを喫し、出場権を得ることができなかった。近年、国体チームは大学生が中心になっている傾向にあったが、今年のチームのように石川県の社会人選手の目標の一つの大会になるよう働きかけをしていく。

3種別ともに、今年度出た成果と課題をもとに、2023年の鹿児島国体に向け活動をしていく。

18.審判 [理事/委員長：勝二 国博]

- ・審判研修会 (web、オフサイドの解釈説明会 8/30)
(web、F 競技規則の改正について 9/30)
- ・石川県審判トレセン (フィジカル 6/28、9/13、10/15、12/3)
- ・石川県指導者トレセン (アナリシス 7/17.18、8/6.7)
(プラクティカル 11/3)
(コーチング 9/3.4、9/18.19、10/1.2、10/15.16【web】、11/26【実践】)
- ・女子レフェリースクール (6/11、11/5)
- ・S 2 級昇級審査 (9/18、10/2、10/9)
- ・S 2 級 I N S 昇級審査 (11/6)
- ・S 3 I N S 更新講習会(9/19)
- ・3 級育成会(一般、大学、2 種、3 種にて実施)
- ・4 級新規講習会(web にて、複数回実施)

19.医学 [理事/委員長：島 洋祐]

【医事派遣】

- 6/17-19 北信越高等学校体育大会サッカー競技 (男子・女子)
兼 第 58 回北信越高等学校サッカー選手権大会 (男子)
医師 1 名・看護師 1 名 ※18 日は派遣できず
- 6/18-19 第 49 回全国自治体職員サッカー選手権北信越大会 看護師 4 名
- 6/22 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会
名古屋グランパス vs ツエーゲン 医師 1 名・看護師 1 名
- 6/25-26 JFA ガールズエイト U-12 北信越トレセン 医師 1 名
- 7/2-3 北信越クラブユースサッカー (U-15) デベロッパ大会 医師 2 名
- 7/17 JFA キッズ (U-6・U-8) サッカーフェスティバル 石川 看護師 1 名
- 9/11 第 1 回全国特別支援学校フットサル大会北信越大会 医師 1 名
- 9/18 第 3 回 JFA キッズ (U-6) フェスティバル (グラスルーツ) 看護師 1 名
- 10/1 第 3 回 IFA パラフットボールフェスティバル 医師 1 名

- 10/8-10 ナショナルトレーニングセンターU-12 北信越 医師 2 名
- 10/22～11/6 第 101 回全国高等学校サッカー選手権大会 石川県大会 医師 4 名
- 11/27 JFA ファミリーサッカーフェスティバル First Touch 医師 1 名

【トレーナー派遣】

- 国体少年女子 矢野昌充

■事務局 [常務理事/事務局長代行：北野 真一]

2 月に事務所を金沢市鞍月から金沢市横川へ移転。

今年は新型コロナウイルス感染症も 3 年目となり、感染対策を実施しながら、ほぼ事業は計画通りに進行した。

理事会、事務担当者会議は、まだリモート開催が中心となっているが、今後は会議の内容によってリモート/招集を使い分けて開催していく。

以上